

報道関係者 各位

2014年8月29日
 国立大学法人 東京農工大学

平成27年4月入学大学院農学府修士課程入学試験問題の 出題ミスについて

平成26年8月28日（木）に実施しました東京農工大学大学院農学府修士課程入学試験の「専門基礎科目（化学）」の問題において出題ミスが判明いたしましたので、下記のとおり公表します。

受験者の皆様をはじめ関係者の皆様に多大なご迷惑をお掛けしたことを心からお詫び申し上げます。

今後、このようなことがないよう、再発防止に万全を期する所存でございます。

なお、平成27年4月入学大学院農学府修士課程入学試験は、当初の日程どおり実施され、予定どおり9月12日（金）に合格発表することとしております。

記

1. 出題ミスの内容

問題〔5〕において、5種類の機器分析データのうち1つに誤りがあり、このため、6つの解答項目のうち、当該データからわかることを記述解答すること及び化合物の構造を推定することの2つの解答項目について正確な解答が導けない。

（誤） $^{13}\text{C-NMR}$ スペクトル (CDCl_3) δ : 146.7(s), 144.8(s), 130.8(d), 130.7(s), 123.2(d),
 119.3(d), 114.5(d), 108.1(d), 55.7(t), 15.3(t)

（正） $^{13}\text{C-NMR}$ スペクトル (CDCl_3) δ : 146.7(s), 144.8(s), 130.8(d), 130.7(s), 123.2(d),
 119.3(d), 114.5(d), 108.1(d), 55.7(q), 15.3(q)

2. 対象となる受験者数

生物制御科学専攻受験者28名のうち化学選択者8名

3. 出題ミス発見の経緯

筆記試験終了後、採点者が採点中に発見。

4. 出題ミスへの対応

当該2つの解答項目については受験者全員（8名）を正答とし、その旨を生物制御科学専攻受験生全員（28名）に連絡。なお、この対応による影響はありません。

5. 今後の対応策

問題作成及びチェック体制のさらなる整備を行い、出題ミスの防止に努めてまいります。

添付資料 東京農工大学大学院農学府（修士課程）学生募集要項抜粋
 当該試験問題抜粋

◆ 入試に関する問い合わせ◆

東京農工大学学務部入試課

TEL: 042-367-5543 / FAX: 042-367-5585

東京農工大学大学院農学府（修士課程）学生募集要項抜粋

学力検査

方法・試験科目 専攻	筆記試験		口述試験														
	外国語	専門科目	専門科目														
生物制御科学専攻	英語	1. 専門基礎科目：生物学又は化学を出願時に選択してください。 2. 専門科目：下表より志望教員の担当する専門科目1科目を出願時に選択してください。	志望教育研究分野についての適性その他。														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>指導教員</th> <th>試験科目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>寺岡徹、有江力、小松健</td> <td>植物病理学</td> </tr> <tr> <td>夏目雅裕、川出洋</td> <td>生物制御化学</td> </tr> <tr> <td>福原敏行、森山裕充</td> <td>細胞分子生物学</td> </tr> <tr> <td>辻村秀信</td> <td>発生生物学</td> </tr> <tr> <td>岩淵喜久男、平岡毅</td> <td>応用昆虫学</td> </tr> <tr> <td>国見裕久、仲井まどか、井上真紀</td> <td>天敵微生物学およびバイオロジカルコントロール</td> </tr> </tbody> </table>	指導教員	試験科目	寺岡徹、有江力、小松健	植物病理学	夏目雅裕、川出洋	生物制御化学	福原敏行、森山裕充	細胞分子生物学	辻村秀信	発生生物学	岩淵喜久男、平岡毅	応用昆虫学	国見裕久、仲井まどか、井上真紀	天敵微生物学およびバイオロジカルコントロール	
指導教員	試験科目																
寺岡徹、有江力、小松健	植物病理学																
夏目雅裕、川出洋	生物制御化学																
福原敏行、森山裕充	細胞分子生物学																
辻村秀信	発生生物学																
岩淵喜久男、平岡毅	応用昆虫学																
国見裕久、仲井まどか、井上真紀	天敵微生物学およびバイオロジカルコントロール																

期日・時間 専攻	平成26年8月28日（木）		平成26年8月29日（金）
	午前10時～12時	午後1時30分～4時	午前10時～午後
生物生産科学専攻	外国語	専門科目	専門科目（口述試験）
共生持続社会学専攻			
応用生命化学専攻			
生物制御科学専攻			
環境資源物質科学専攻			
物質循環環境科学専攻			
自然環境保全学専攻			
農業環境工学専攻			
国際環境農学専攻			
場 所			

7. 合格発表

合格者を平成26年9月12日（金）午前10時、東京農工大学農学府掲示板（正門掲示板）に発表するとともに本学のホームページ（<http://www.tuat.ac.jp/>）上に補助的手段として3日間掲載します。

また、合格者には合格通知を本人に郵送します。なお、電話での問い合わせには一切応じません。

当該試験問題抜粋

問題〔5〕 次の5種類の機器分析のデータそれぞれから、どのようなことがわかるかを記せ。また、それらの結果を総合して、これらのスペクトルを与える化合物の構造を推定せよ。

^{13}C -NMR スペクトル (CDCl_3) δ : 146.7 (s), 144.8 (s), 130.8 (d), 130.7 (s), 123.2 (d), 119.3 (d), 114.5 (d), 108.1 (d), 55.7 (t), 15.3 (t)